

## ナレッジマネジメントを導入したコミュニティ再生手法の開発

- 1 中核機関・研究総括者  
神戸大学 星野 敏

- 2 研究期間  
2006～2008 年度（3 年間）

- 3 研究目的

農村コミュニティの住民自治や資源管理システムが崩壊の危機にあるとともに、地域固有のナレッジが失われつつある。また、関心をもつ都市住民は増加しているものの、彼らの受入体制は十分整っていない。このため、ナレッジを基盤（収集・共有）にしたコミュニティ再生の手法を開発する。

- 4 研究内容及び実施体制

- ① 地域ナレッジマネジメントシステムの確立（神戸大学、（財）兵庫丹波の森協会）

農業生産や生活のナレッジ（暗黙知・形式知）を住民参加型で収集・共有活用するマネジメントシステムを開発する。

- ② 小学校区における自治管理システムの再編要件とモデルの解明（神戸大学、（財）兵庫丹波の森協会）

住民自治管理組織の課題を分析し、ワークショップを通して自治管理システムの再編を行う。実践過程で取得した地域づくりのナレッジを移転活用する方法を計画手法としてモデル化する。

- ③ 問題解決型地域連携システムの確立（神戸大学、（財）兵庫丹波の森協会）

地域に散在する人材をインベントリーし、住民、官学連携で地域問題の抽出・解決する地域ネットワークを構築する。

- 5 目標とする成果

自治型 NPO 法人を核にした小学校区でのコミュニティ再編の実現と地域ナレッジの収集・共有、人材活用システムが確立される。これにより、地域ナレッジの継続的な蓄積と活用、住民と大学の人材ネットワーク、人材育成の促進による問題解決や革新、小学校区での都市・農村協働型自治管理システムの再編の効果的推進による地域の内発的な再生が期待される。

# ナレッジマネジメントを導入したコミュニティ再生手法の開発

## ■地域の課題

- ・農村コミュニティの住民自治や資源管理システムが崩壊の危機に瀕している。
- ・地域固有のナレッジが失われつつある
- ・関心をもつ都市住民が増加する受入体制は不備

→コミュニティを支えるシステムとナレッジの再構築、その支援システムが必要！

## ■地域ナレッジの特徴

- ・農業生産や農村生活に不可欠な資源
- ・一度失われると再蓄積が困難
- ・形式化されていない暗黙知も多い
- ・地域ナレッジを満足に持たない農村住民も増加
- ・目に見えないために軽視されやすく、有効な対策は講じられていない

## ■研究内容

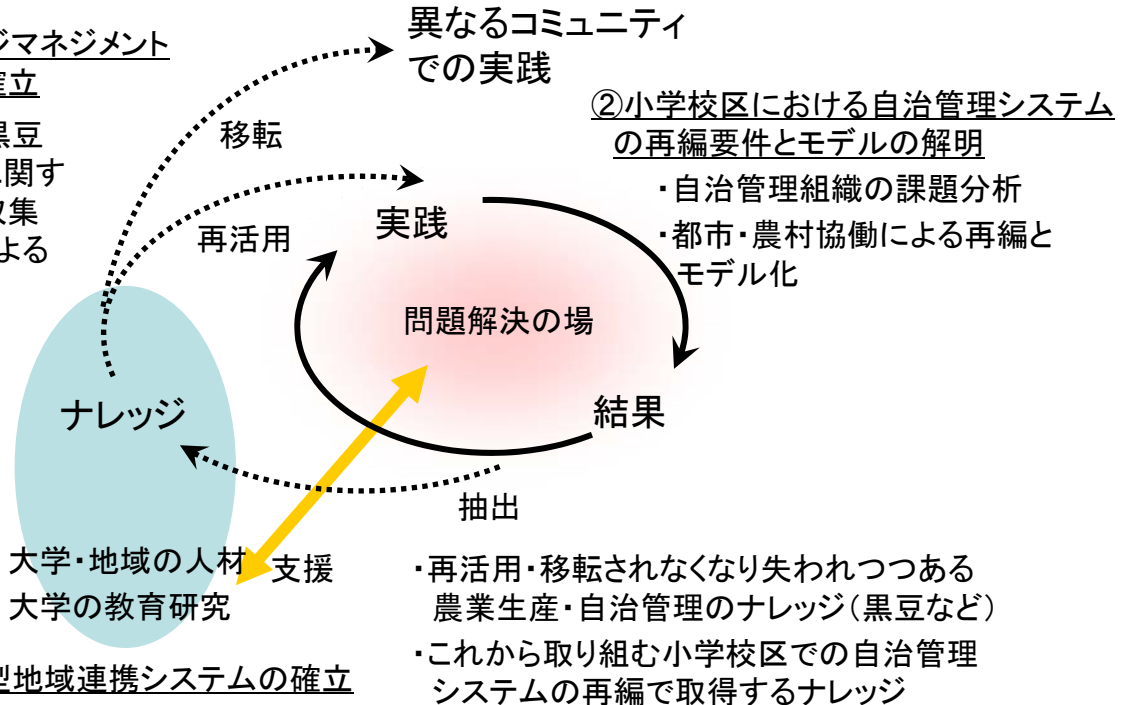
### ①地域ナレッジマネジメントシステムの確立

- ・農業生産(黒豆など)・生活に関する暗黙知の収集
- ・住民参加によるマネジメント

異なるコミュニティでの実践

### ②小学校区における自治管理システムの再編要件とモデルの解明

- ・自治管理組織の課題分析
- ・都市・農村協働による再編とモデル化



### ③問題解決型地域連携システムの確立

- ・人材インベントリー
- ・問題解決型研究のケーススタディ

## ■達成目標

- ・自治型NPO法人を核にした小学校区でのコミュニティ再編の実現とナレッジ移転による計画手法の確立
- ・地域ナレッジマネジメントシステムの確立
- ・地域問題の抽出・解決をおこなう人材ネットワーク、官学連携体制の構築

## ■期待される効果

- ・地域ナレッジの継続的な蓄積と活用、住民と大学の人材ネットワーク、人材育成の促進による問題解決やイノベーション
- ・小学校区での都市・農村協働型自治管理システムの再編の効果的推進による地域の内発的な再生